



気象・海象状況に応じ、適切な操船を行いましょう！



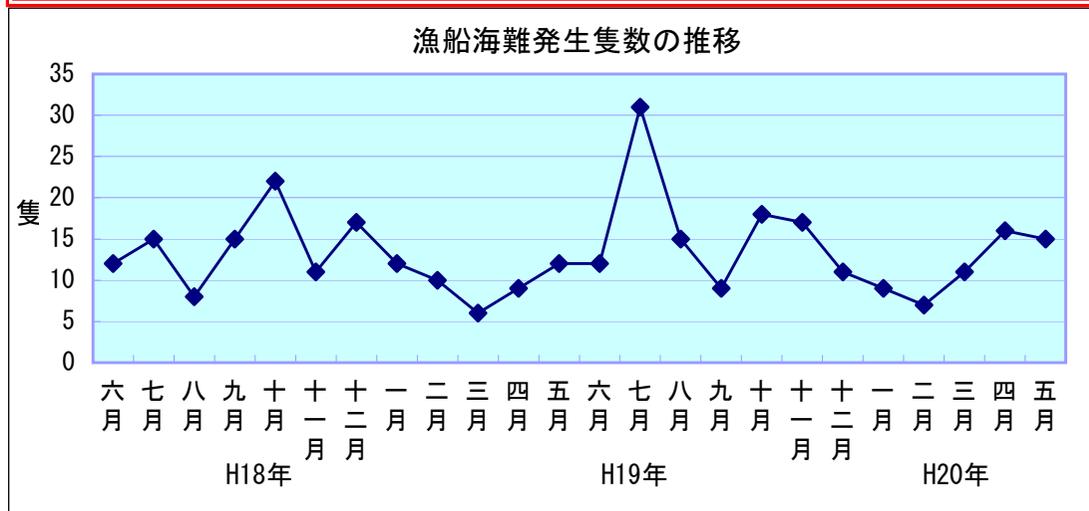
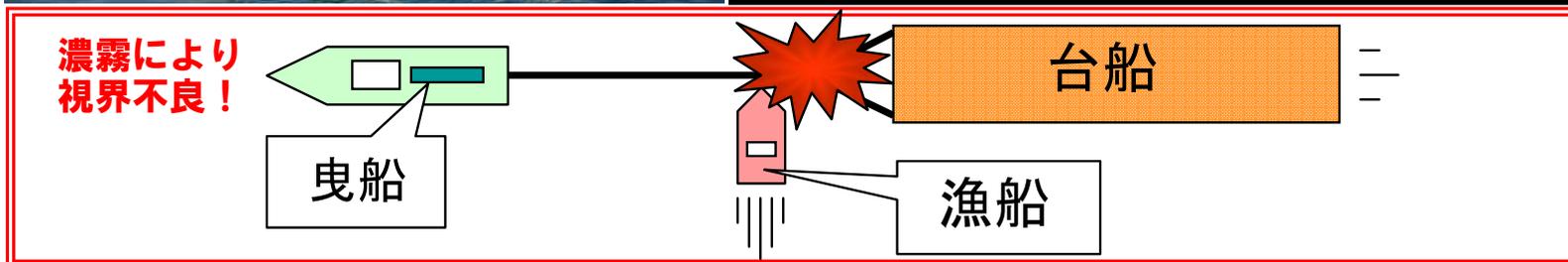
左の写真は、漁場向け航行中の漁船と、曳船の曳航索が接触、その後、曳航されていた台船に衝突し、転覆したものです。

漁船に乗船していた2名のうち1名が転覆した船内に取り残されましたが、曳船に救助されました。

当時は、濃霧のため視程が約50メートルと悪かったため、漁船は、操船者の他に船尾甲板にも見張りを配置して航行中していましたが、衝突直前まで曳船に気付かず、曳航索が直前に迫ったところで後進をかけたが、間に合いませんでした。

衝突直前は、漁船が14ノット、曳船は3.5ノットの速力でした。

平成20年5月	
合計15隻	
(漁船海難速報値)	
種別	
衝突	9
乗揚	1
転覆	0
浸水	0
推進器障害	3
舵障害	0
機関故障	1
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航障害	1
安全障害	0
その他	0
15	
県別	
山口県	2
福岡県	7
佐賀県	2
長崎県	4
大分県	0



漁船海難月報 (速報)
平成二〇年五月分
第七管区海上保安本部

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。